

# 運送業界の健康支援を生きがいに

## 85 両輪会・居眠り運転防止対策をテーマに



《全日本トラック協会・大阪府トラック協会  
SAS検査受託機関》  
NPO 法人 ヘルスケアネットワーク  
(OCHIS)

理事 作本 貞子

「安全と健康を推進する協議会(両輪会)」代表

TEL : 06-6965-3666

FAX : 06-6965-5261

E-mail sakumoto@ochis-net.com

HP <http://sas.ochis-net.jp/>

4月の関越自動車道での高速ツアーバスによる居眠り運転事故を受け、行政・バス・トラック関係者が、居眠り運転防止対策に着手しています。私もこの事故をきっかけに、睡眠時無呼吸症候群(SAS)の講演を全国各地で、さらにお受けするようになりましたが、各地とも「居眠り」への関心は非常に高く、予想を上回る盛況ぶりです。

■居眠りはヒューマンエラー 事業用自動車の場合、居眠り運転といえば「過労」と扱われがちですが、私はその複合的な原因を、あくまでも体調管理などのヒューマンエラーの側面からお話させて頂いています。全国至る所で日常茶飯事に発生している居眠り運転。この居眠りに至る「ドライバーの体調とその背景」を、まず考慮すべきだと捉えているからです。

■体調管理から居眠り防止対策を  
OCHISでは25日(水)に第11回「安全と健康を推進する協議会(両輪会)」を大阪市内で開催しますが、ここでも「居眠り運転防止」を取り上げることになりました。テーマを「どうしていますか? 居眠り運転対策」高速ツアーバス事故を踏まえて、体調コントロールを主とした情報提供や事業者間のディスカッションを行います。

■「居眠り」とは言わせない  
先般の両輪会立ち上げの方たちとの事前打ち合わせでは、「眠気を感じたときの対応を、ドライバーへはどのように指導しているのか」という基本的事項に加え、「健診結果を衛生管理者は把握しているが、運行管理者は把握しているのか」という点も取り上げたいという声がありました。

■両輪会は本音の会  
両輪会では、できる限りの現場の本音を語っていただき、各社の失敗談や成功例を交えて、熱く意見交換ができればと思っています。皆さまのご参加をお待ちしています。(両輪会については、OCHISのHPをご覧ください)

(次回は6月13日号に掲載)